

2024年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (NIHOアルテ) 作成日時 (2024年 9月 10日)

代表	施設長	本部
風間	瀧邊亮	田中

2024年度 改善への取り組み	施設内の活動内容（創作活動等のサービスの継続）とご家族との活動の様子の情報共有を強化
今年度の施設目標	ご家庭への、支援内容・活動内容といった様子の伝達の強化と、現場スタッフの参加による、コンサルティングのより確実な現場へのフィードバック

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	・特になし	・人員配置が適切とは言えない ・活動スペースが十分確保されていない
業務改善	・PDCAサイクルに職員が広く参画できている ・特性や保護者ニーズに沿った個別対応に繋がっている	・特になし
適切な支援の提供	・支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている ・保護者に対して面談や育児に対する助言等の支援が行われている ・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	・父母の会の活動の支援や保護者会等の開催など保護者同士の連携が支援されていない ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が用意されていない
関係機関や保護者との連携	・非常災害の発生に備え避難救出、その他必要な訓練が行われている	・子どもの主治医等と連絡体制が整っていない。 ・児童発達支援センター、発達障がい者支援センター等の専門機関との連携が薄い
保護者への説明責任等	・運営規定、支援内容、利用者負担等について説明を丁寧に行なっている ・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じたり必要な助言や支援を行っている	・父母の会の活動の支援や保護者会等の開催など保護者同士の連携が支援されていない
非常時等の対応	・非常災害の発生に備え、必要な訓練が行っている ・虐待防止の為、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしている ・身体拘束を行うかについて組織的に決定し、保護者に了解を得たうえで支援計画に記載している ・ヒヤリハット事例を事業所内で共有している	・避難マニュアルの内容などの事前の情報が薄い。 ・また、行った様子が公表されないで様子がわかりにくい



分析検討してみた事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、保護者様たちが安心して利用することが出来ている ・動画提供やHUGの利用により、支援の様子や利用者の活動の様子を保護者様に情報共有する試みが大変好評を得ている ・パーソナルスプレッドシートを使った利用者個別の特性の共有が職員間できれやす ・LINEやHPといった媒体を利用することで災害、感染等の非常時対策の保護者との共有が進んだ

分析検討してみた事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・支援の様子や利用者の活動の様子がよくわかるようになったというご家族からの評価がある一方で、放課後等デイサービスの利用者の学年進級など環境変化に伴い利用者の将来のことを考え始めるご家族が増え、卒業後の進路や生活の在り方の情報を求める声が増えている。 NIHOアルテでは、保護者間の交流を深める活動や卒業生の現在の活動の様子を共有するイベントを企画できていない現状がある。 そこで、OBを中心とした情報交換会を開く必要性を感じる。

事業所の改善への取り組み
<ol style="list-style-type: none"> ①現在の利用者やご家族へ何の情報か意識調査をおこなう。 ②それをもとに卒業生やそのご家族へのアンケート内容をまとめる。 ③卒業生アンケートの実施。 ④アンケート結果を踏まえ、交流会の開催を企画する。 ⑤実際の交流会の実施。 ⑥実施内容の情報記録の共有。

自己評価を行った事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の支援の質の向上（研修会への参加や、その情報共有等）や、より活動しやすい環境の整備等の重要性は最も大切ではあるが、その一方で利用者の親が将来の進路や活動について、ことのほか不安を持っていたり、そのことについてより有益な情報を求めている事を強く感じる。 施設として支援そのものへのニーズに答える努力の他に、情報を結びつけるイベントの開催や紙面での情報伝達により積極的にならなければならないと考え る。

来年度の施設目標	活動しやすく安心して過ごせる場の提供を行うための構造化を進める
----------	---------------------------------